

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校の被害状況

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 教諭 藤代 洋子

1. 当日の学校の状況および地震発生時の状況

3月11日は短縮授業のため大部分の生徒が帰宅していた。地震発生時、校舎内に模擬試験・課外等のため、1年生17名、2年生20名と卒業生2名がいた。揺れがおさまらないため教員の指導の下、全員が校舎前の駐車場に避難した。地震の恐怖から泣き出す生徒もあり、小雨がぱらつく中余震が続くため校舎に入れず寒さに震えながら揺れがおさまるのを待った。

余震が続く中、生徒は教室からカバン等を持ち出し、15時半スクールバス2台に分乗させ自宅の最寄り駅（常磐線）まで送り届ける。職員は生徒を見送った後、職員室をある程度片付け帰宅した。

2. 校舎内および敷地内の被害状況

管理棟2階の職員室：袖机数個が倒れ中の書類等が散乱。2段に重ねてあったスチール製のロッカーが落下し、扉1枚が破損、中の書籍や書類が散乱。机の上の書籍や書類が落下し散乱。

教室棟1階から4階：トイレの壁のタイルにひび、一部が剥がれ落ちる。廊下の壁にひび、一部が剥がれ落ちる。理科室のメスシリンダー1本破損。管理棟と教室棟のつなぎ目付近のコンクリートが一部砕けた。

体育館：アリーナ天井の照明器具2個落下し破損、ガラスが散在している。バスケットセンターゴール上のオレンジケース落下。ステージのラスボードが落下し破損。（3月は体育館立ち入り禁止）

校門右側の支柱とフェンスとの繋ぎ目に亀裂が入る。

学校前道路西側の坂道の降り口左側が10メートルにわたって幅10センチメートル程度の亀裂が入る。通行止め。

3. 地震後、学校再開まで

3月14日（月）から16日（水）の3日間、臨時休校。常磐線の運転開始とともに通学は平常に戻る。体育館は使用不可、4月入学式までに暫定的に使用できる状態にし、修理は夏休みに行う。

春休み中に実施予定だった2年生の修学旅行（関西方面）の中止。5月に実施予定だった新2年生の修学旅行（東北方面）中止。

夏休みに毎年実施している1年生の宿泊学習の千葉県一の宮臨海寮が地震で使用できなくなったため、行き先を変更。

- ① 鉄筋コンクリート造り・4 階建て校舎のトイレ壁面のタイルが延べ 130 枚程度落下したりひび割れたりした。
- ② 同校舎階段踊り場の壁面が延べ 28m² 程度ひび割れた。
- ③ 同校舎教室隔壁が破損した。
- ④ 同校舎庇の雨桶が破損した。
- ⑤ 同校舎渡り廊下と管理棟との接合部のシーリングが破損したり、エキスパンションジョイントが横ずれしたりした。
- ⑥ 体育館天井照明 36 台うち 21 台落下、宙づり、動作不良等が生じた。
- ⑦ 体育館窓の鍵が 2 個破損した。
- ⑧ 体育館のつり下げ型バスケットゴールのモーターカバーが破損した。
- ⑨ 管理棟土間のコンクリートが 5 カ所破損した。
- ⑩ 受水槽天井が 2 カ所破損した。

⑥以外についてはすべて現状復旧する予定。⑥の天井照明は昇降機能がついており照明器を体育館床まで下げて電球を交換することが可能である。

しかし、今回と同程度の地震に見舞われた際照明器の落下が想定され危険である。そのため機能ダウンになるものの天井に固定する方式で 36 台総てを交換復旧する予定である。